

定期的には現場巡回を行い生育を把握し適期管理に努めましょう。

「JA米」の生産基準
1. 生産資材の選択
2. 肥培管理及び除草、病虫害防除
3. 収穫、出荷
4. 生産履歴の記録・点検
5. 分別出荷、表示及び不適合品
品種特性表
農薬の飛散防止
病害虫防除(基本)

月旬 6 7 8 9 10
水管理
主な作業内容
病害虫防除(基本)
刈り遅れをなくそう。
<カメムシ対策>

除草剤防除基準
薬剤名 使用時期 10a当たり散布量 使用上の留意点
液剤体系
土づくり
施肥基準
多肥(特に基肥)栽培は避けること。

稚苗育苗の重点
1. 準備作業
2. 播種作業
3. 育苗管理
水管理
病害虫防除
追肥

★使用された資材・農薬名に○と使用量を記入して下さい。(10a当たり)
実施項目 資材・農薬名 ○印 使用量
種子
苗の委託先
種子消毒
床土消毒
箱施薬
土壌改良材
基肥
追肥

平成30年産水稲栽培管理記入欄
★「作付品種」「作付面積」「主な作業月日」を記入して下さい。
品種名 5月 6月 7月 8月 9月 10月
元気つくし
ヒノヒカリ

★農薬は保管庫等に入れるなどして、きちんと管理しましょう!
★生産履歴記帳により安全・安心で品質の良い米を消費者に届けよう!!
●農家自ら進めよう。米の消費拡大! ●農薬購入の際は印鑑が必要です。
●稲ワラ・麦ワラは流出防止や土づくりのため、堆肥と交換するか全量すき込みましょう!